

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業実施報告書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

| | | |
|----------|-----------------------|--|
| 実施主体 | 団体名 | プラウド岡山 |
| | 担当者氏名 | 鈴木富美子 |
| | 連絡先 | |
| | 合同提案団体 (あれば) | |
| 岡山市の協働課等 | 課名等 担当者氏名 (連絡先) | 課名等 岡山市教育委員会事務局指導課 担当者 河合浩一 (電話086-803-1621) |
| 調査事業 | 名 称 | 主に岡山県内の性的マイノリティを対象とした 学校生活に関するアンケート調査 |
| | 調査の目的・仮説 | プラウド岡山(性的マイノリティ自助グループ)主催の交流会において、性的マイノリティ当事者は思春期に生きづらさを経験するという声が多く聞かれることから、主に学校生活における当事者の経験や当事者を取り巻く周囲の意識・環境などの実態を調査し、結果を教育委員会等関係者に届けることで、教員研修などの市民協働事業および岡山市施策提言につなげる。 |
| | 調査の対象 数量 | 主に岡山県内の性的マイノリティ当事者 有効回答数 152 人 |
| | 調査の方法 | プラウド岡山ホームページ上における Google フォームを利用したアンケート調査。児童生徒だけでなく一般の当事者にも広く参加を呼びかけ、学校生活(主に、小・中・高等学校)を振り返って回答していただいた。以下の学校や施設、新聞社等へ広報をお願いした。 岡山市役所、岡山市内公民館、ゆうあいセンター、岡山大学、岡山理科大学、環太平洋大学(IPU)、中国学園大学、ノートルダム清心女子大学、岡山県立烏城高校、岡山県立岡山東商業高校、岡山県立高松農業高校、朝日新聞(2015年12月24日岡山県版掲載)、山陽新聞(2016年1月9日全県版掲載)、毎日新聞(2016年1月13日岡山県版掲載)、Facebook、Twitter、店舗(デンカフェ、ラヴィアン、リンリンシャ)、プラウド岡山茶話会参加者、岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会参加者 |

| | | | | |
|----------------------|---|--|----------------------------------|----------------|
| 調査事業 | 調査の工程 | 月 | 工程 | 担当 |
| | | 12月 | アンケート作成 | 平島 |
| | | 12月 | ホームページ上にアンケートフォーム構築 | 金平 |
| | | 12月 | アンケート広報 アンケート実施(12月20日～1月31日) | 鈴木 |
| | | 2月 | アンケート集計 | 金平・野崎 鈴木・平島 |
| | | 2月 | 報告書編集 | 鈴木・平島 金平・野崎 |
| | | 3月 | 報告書発送 | 平島 |
| | 調査結果概要 (詳細結果については添付してください) | <p>学校に通っていたころ、セクシュアリティを主な原因とする希死念慮をもった経験が「ある」「少しある」と回答した人が全体の64%、学校不適応感をもったことが「ある」「少しある」「不登校になった」と回答した人は46%、自傷行為経験も46%、しかし教師に相談できた人は12%となり、深い悩みをもっているにもかかわらず教師にはそれが伝わっていない現状が見える。また、自由回答からは周囲の偏見や差別に一人で耐えている姿も浮かび上がってきた。</p> <p>その他、すべての自由記述回答など詳細結果は、アンケート調査報告書(添付)に掲載。</p> | | |
| 本調査を踏まえて提案したい協働事業の予定 | <input type="checkbox"/> 平成28年度岡山市の一般施策で事業を実施する予定 <input type="checkbox"/> 平成29年度岡山市一般施策として実施する予定 <input checked="" type="checkbox"/> 平成28年度市民協働推進モデル事業に提案する予定。 <input type="checkbox"/> 平成29年度市民協働推進モデル事業に提案する予定。 <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | <p>提案(実施)する予定の事業計画案概要</p> <p>本調査結果によれば、中学までに性指向及び性自認に違和感をもつ当事者が多く、偏見・差別への恐怖や、旧来のジェンダー規範を押し付けられることへの抵抗感を抱えながら生活している様子が見える。子どもたちが自己肯定感を育みながら自分らしく生きていくためには、性的マイノリティに対する周囲の理解を深めることが第一歩であり、当事者でない子ども達も含めて全ての児童・生徒が多様なセクシュアリティのあり方を知ることは多様性を認め合う社会の実現に寄与する。学校現場において、お互いを受容する雰囲気醸成には教職員の果たす役割が大きいと考えられるため、協働事業ではまず教職員用に性的マイノリティへの理解と対応をわかりやすくまとめたパンフレットを作成する。さらに、困難を抱えた性的マイノリティの児童・生徒やその保護者対象のサロンを運営し、啓発リーフレットやパネル展、アンケート報告会等で一般市民への啓発につとめる。</p> | | | |

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支決算書

単位(円)

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 調査事業名 | 主に岡山市内の性的マイノリティを対象とした学校生活に関するアンケート調査 |
|-------|--------------------------------------|

(収入)

| | 費目等 | 金額 |
|-----------------------|--------|-----------------|
| 自己資金等 | 実施主体 | 自己資金・寄附 70,135円 |
| | 合同提案団体 | 円 |
| | 合計(a) | 円 |
| 事業収入 | 事業収入 | 円 |
| | 合計(b) | 円 |
| 岡山市補助金申請額(c) | | 275,000円 |
| 収入合計(d) = (a)+(b)+(c) | | 345,135円 |

(支出)

| | 費目 | 金額 | 内訳 |
|------|-----|----------|------------------|
| 経費 | 印刷費 | 142,560円 | 報告書800部 |
| | 郵送費 | 87,300円 | 180円×485校 |
| | 通信費 | 11,340円 | ホームページ維持費 |
| | 雑費 | 10,835円 | 封筒、ラベル、のり、コピー用紙等 |
| | 人件費 | 93,100円 | |
| 総事業費 | | 345,135円 | ※収入合計(d)と同額 |

※領収書等の支払の実績を証明するものを添付してください。

※会議費、交通費等の支払の場合はその目的・場所等がわかる資料を添付してください。

※人件費の場合は業務従事日、時間等を添付してください。